



「やまるん」と「さくらん」

## 6年生を送る会・お別れ遠足

早いもので6年生の卒業まで、あと7日となりました。6年生がもうすぐ卒業し、いなくなることを考えると本当にさみしい気持ちになります。これまで6年生は、学校のリーダーとして、運動会やフルーツコンサートなどの行事で、しっかりと役割を果たしてくれました。また、友達との絆を大事にして、下学年にもやさしく接し、山春小のよい雰囲気をつくってくれました。卒業するお祝いとして、3月4日(水)に送る会と遠足を行いました。

6年生を送る会では、1年生から5年生までの出し物があり、6年生と一緒に遊んだこと、あこがれとしての運動会の応援団、委員会活動で教えてもらったことなどの思い出や感謝のことが盛り込まれていました。どの学年も「6年生ありがとう」「6年生が喜んでもらえるように」という思いをもって、これまで練習に励んでいました。みんなの気持ちは、6年生に伝わったことだと思います。6年生からは、各学年へ寄せ書きがプレゼントされ、一言ずつ贈ることが添えられました。最後に、合奏 SPYAIR の「オレンジ」を披露し、全校のみんなは聞き入っていました。子ども達の気持ちがこもったとても感動的な集会になりました。

その後、遠足で大春トリムセンターに行きました。さくら班に分かれて、お弁当を食べたり遊んだりして、6年生との最後の楽しい思い出をつくることができたことと思います。



## うきは市の移り変わり(3年)

3年生の社会科では、昔と今のくらしの違いについて学習しています。3月5日(木)に、うきは市役所の企画政策課、学校教育課の方々においでいただき、お話をさせていただきました。

お話の内容から、いろいろなことを知りました。市の人口は、現在(2025年)約26000人ですが、2050年には約17000人まで減少していくと予想されています。一方で、うきは市に移り住む人も少しずつ増えてきてはいるそうです。また、明治後期から昭和初期には、今の国道210号(今川通から北へ曲がり高見、三春)に、筑後軌道があり、久留米から日田の間を3時間20分もかけて蒸気機関車が走っていたことも興味をそそられました。なんと明治の頃は、馬車鉄道だったそうで驚きでした。その後、久大本線の開通に伴い、廃線となりました。最近、筑後吉井駅内にカフェができていたのにも驚かされました。

昔と今の写真を比べながら見せてもらうことで、時代とともに市や山春校区の様子に移り変わってきたことが分かりました。便利な世の中になりましたが、人々の生活の様子移り変わりを知り、そして、これからのうきは市がどう発展していけばよいかを考えることが子ども達に求められています。

